



長く臨床をやっていると、ふと気づくことがある。われわれ臨床家はこうした気づきから現状の変化を発見し、現状に合った治療をしていかなければならない。

そういえば最近、歯が見えないぐらい歯石が沈



着していても、歯槽骨は全く溶けていない高齢者を見なくなった。その代わり多いのが、歯磨きはよくできているのに、歯周病で歯槽骨が溶けている患者さんだ。これは歯周病菌による感染症が限りなく広範囲に広がったことを意味する。

少し前の時代の人は歯槽骨があまり溶けていな

強い感染力 犬にも拡大

□□ 33 □□

い。歯周病による感染症が進んだのはそんなに昔のことではないのだろう。

インターネットで犬の歯周病について見ていたら、人間の歯周病と全く同じような症状、治療方法が紹介されていた。この感染症は、犬にまで広がっているのかと、あらためてその感染力の強さを恐ろしく感じた。

この感染症は、一度感染したら完全に駆除することが困難だ。また歯周病菌は口腔内だけでなく他の部位の感染症にも関与している。今一度この感染症に対応する治療方法を確立しなければいけない。

感染症に対する治療方法は主に抗菌剤の投与であり、その種類と投与方法の確立を急がなければならぬ。時間の経過とともに耐性を持ち、その効力が失われていくからだ。また再感染の問題など取り組むべき課題は多い。ピロリ菌の駆除が可能だったように、歯周病菌の駆除も早く可能となるよう願ってやまない。